



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月7日

上場会社名 名港海運株式会社

上場取引所 名

コード番号 9357 URL <http://www.meiko-trans.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤森 利雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 小林 史典

TEL 052-661-8134

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	54,941	14.7	4,312	35.4	5,133	34.0	3,568	33.1
2018年3月期第3四半期	47,920	8.4	3,184	15.2	3,831	11.6	2,680	10.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,753百万円 (60.7%) 2018年3月期第3四半期 4,463百万円 (66.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	119.74	
2018年3月期第3四半期	89.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	104,996	88,955	81.7
2018年3月期	103,334	87,493	81.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 85,724百万円 2018年3月期 84,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		10.00		10.00	20.00
2019年3月期		10.00			
2019年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	2.1	4,400	0.1	5,300	4.0	3,700	1.5	124.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	33,006,204 株	2018年3月期	33,006,204 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,201,712 株	2018年3月期	3,201,621 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	29,804,596 株	2018年3月期3Q	29,806,623 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	P. 5
四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を受けた設備投資の増加や、雇用所得環境の改善による個人消費の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような環境のなかで、当社グループが営業の基盤を置く名古屋港の港湾貨物は、輸出は自動車等が増加したことにより、前年実績を上回りました。輸入は非鉄金属等が増加しましたが、原油等が減少したことにより、前年並みとなりました。

当社グループといたしましては、輸出貨物は、自動車部品や機械等の取扱いが増加しました。輸入貨物は、食糧等は減少しましたが、非鉄金属や油脂原料等の取扱いが増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結売上高は、549億41百万円と前年同期と比べ70億21百万円(14.7%)の増収となりました。

営業利益は、43億12百万円と前年同期と比べ11億28百万円(35.4%)の増益となりました。

経常利益は、51億33百万円と前年同期と比べ13億2百万円(34.0%)の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、35億68百万円と前年同期と比べ8億88百万円(33.1%)の増益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

港湾運送およびその関連の売上高は、540億70百万円と前年同期と比べ69億6百万円(14.6%)の増収となりました。賃貸の売上高は、8億70百万円と前年同期と比べ1億14百万円(15.2%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11億2百万円増加し、362億60百万円(前連結会計年度末比3.1%増)となりました。これは、受取手形及び売掛金が14億49百万円増加した一方で、設備投資等により現金及び預金が7億22百万円減少したことなどが主な要因であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5億59百万円増加し、687億35百万円(前連結会計年度末比0.8%増)となりました。これは、設備投資等により建設仮勘定が25億円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて16億61百万円増加し、1,049億96百万円(前連結会計年度末比1.6%増)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億43百万円増加し、93億30百万円(前連結会計年度末比6.2%増)となりました。これは、主として売上の増加に伴う支払の増加により買掛金が9億10百万円増加した一方で、賞与の支払等により賞与引当金が7億51百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3億43百万円減少し、67億10百万円(前連結会計年度末比4.9%減)となりました。これは、株式時価の下落等により繰延税金負債が3億99百万円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて14億62百万円増加し、889億55百万円(前連結会計年度末比1.7%増)となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が29億72百万円増加した一方で、株式時価の下落等によりその他有価証券評価差額金が17億97百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,987,131	20,264,177
受取手形及び売掛金	11,854,808	13,304,745
未収還付法人税等	77,189	147,352
その他	2,262,218	2,570,486
貸倒引当金	△23,098	△25,865
流動資産合計	35,158,249	36,260,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,740,233	46,409,242
減価償却累計額	△30,285,093	△32,178,500
建物及び構築物(純額)	13,455,140	14,230,741
機械装置及び運搬具	14,657,110	14,750,781
減価償却累計額	△12,330,735	△12,501,042
機械装置及び運搬具(純額)	2,326,375	2,249,738
土地	22,505,707	23,408,377
リース資産	930,608	893,380
減価償却累計額	△593,855	△609,130
リース資産(純額)	336,753	284,250
建設仮勘定	2,247,103	4,747,947
その他	1,637,845	1,760,761
減価償却累計額	△1,193,427	△1,278,135
その他(純額)	444,418	482,625
有形固定資産合計	41,315,499	45,403,681
無形固定資産		
ソフトウェア	167,545	137,697
ソフトウェア仮勘定	—	39,374
リース資産	8,851	7,288
その他	40,191	40,219
無形固定資産合計	216,588	224,580
投資その他の資産		
投資有価証券	22,223,711	18,698,642
長期貸付金	844,760	794,970
繰延税金資産	694,622	714,920
退職給付に係る資産	1,321,611	1,340,949
その他	1,760,326	1,758,618
貸倒引当金	△201,149	△201,148
投資その他の資産合計	26,643,882	23,106,953
固定資産合計	68,175,970	68,735,215
資産合計	103,334,220	104,996,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,054,491	4,964,667
リース債務	130,287	102,229
未払法人税等	772,657	402,213
賞与引当金	1,631,611	880,217
その他	2,197,509	2,980,836
流動負債合計	8,786,557	9,330,163
固定負債		
リース債務	230,297	191,051
繰延税金負債	1,310,917	911,770
役員退職慰労引当金	5,613	6,611
退職給付に係る負債	4,401,640	4,461,137
資産除去債務	530,050	533,677
未払役員退職慰労金	246,025	246,025
その他	329,537	359,940
固定負債合計	7,054,081	6,710,213
負債合計	15,840,638	16,040,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,350,704	2,350,704
資本剰余金	1,601,584	1,712,419
利益剰余金	75,475,402	78,448,078
自己株式	△2,304,109	△2,415,049
株主資本合計	77,123,582	80,096,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,105,835	6,308,417
為替換算調整勘定	△638,767	△720,710
退職給付に係る調整累計額	38,394	40,997
その他の包括利益累計額合計	7,505,462	5,628,703
非支配株主持分	2,864,536	3,230,876
純資産合計	87,493,581	88,955,734
負債純資産合計	103,334,220	104,996,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	47,920,330	54,941,429
売上原価	37,853,093	43,637,135
売上総利益	10,067,236	11,304,293
販売費及び一般管理費	6,882,884	6,991,712
営業利益	3,184,352	4,312,581
営業外収益		
受取利息	25,382	39,147
受取配当金	466,505	525,165
持分法による投資利益	53,646	75,263
為替差益	5,658	1,297
負ののれん償却額	-	1,118
その他	105,487	182,009
営業外収益合計	656,680	824,000
営業外費用		
支払利息	2,272	1,630
固定資産除却損	941	480
固定資産売却損	-	472
会員権評価損	4,799	-
その他	1,668	595
営業外費用合計	9,682	3,179
経常利益	3,831,350	5,133,403
特別利益		
移転補償金	180,457	-
段階取得に係る差益	-	36,657
特別利益合計	180,457	36,657
税金等調整前四半期純利益	4,011,807	5,170,060
法人税、住民税及び事業税	894,612	1,161,040
法人税等調整額	364,744	337,298
法人税等合計	1,259,357	1,498,339
四半期純利益	2,752,450	3,671,721
非支配株主に帰属する四半期純利益	72,154	102,953
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,680,296	3,568,768

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,752,450	3,671,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,495,799	△1,834,331
為替換算調整勘定	164,806	△50,915
退職給付に係る調整額	50,859	2,424
持分法適用会社に対する持分相当額	△790	△35,070
その他の包括利益合計	1,710,674	△1,917,893
四半期包括利益	4,463,125	1,753,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,359,178	1,692,010
非支配株主に係る四半期包括利益	103,946	61,818

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であった名郵不動産株式会社の株式を追加取得し、連結子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送および その関連	賃貸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,164,801	755,529	47,920,330	—	47,920,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	94,520	94,520	△94,520	—
計	47,164,801	850,049	48,014,850	△94,520	47,920,330
セグメント利益	2,701,292	471,392	3,172,684	11,667	3,184,352

(注) 1 セグメント利益の調整額11,667千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送および その関連	賃貸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,070,989	870,439	54,941,429	—	54,941,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	138,148	138,148	△138,148	—
計	54,070,989	1,008,588	55,079,577	△138,148	54,941,429
セグメント利益	3,761,499	540,860	4,302,360	10,221	4,312,581

(注) 1 セグメント利益の調整額10,221千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。